

2021年9月末現在

事業所数 19社  
被保険者数 1,653人  
被扶養者数 1,670人

すいぶん

No.156  
2021

神戸新聞健康保険組合

神戸市中央区東川崎町1-5-7

☎(078)362-7166

# 受診手控え 医療費低水準

2020年度収支決算概要

2020年4月1日～2021年3月31日

(単位：千円)

	当期実績	予算対比	前年実績	前年対比
〈経常収入〉	1,029,156	99.4%	1,038,094	99.1%
健康保険収入	1,020,082	99.4%	1,029,911	99.0%
保健事業収入	4,100	88.6%	3,947	103.9%
雑収入ほか	4,974	106.5%	4,236	117.4%
〈経常支出〉	795,008	81.5%	951,344	83.6%
事務費	44,459	88.7%	43,417	102.4%
保険給付費	373,081	73.6%	430,025	86.8%
納付金	342,860	91.7%	440,813	77.8%
保健事業費	29,677	75.1%	32,276	91.9%
その他	4,931	97.9%	4,813	102.5%
〈経常収支〉	234,148	389.6%	86,750	269.9%
経常外収入	21,905	113.9%	98,063	22.3%
経常外支出	14,164	17.9%	14,051	100.8%
最終収支	241,889		170,762	141.7%

## 健保組合20年度決算

### 経常黒字2億円台

神戸新聞健康保険組合の2020年度収入支出決算が組合会で承認された。新型コロナウイルス流行に伴う緊急事態宣言、外出自粛要請を受けて医療機関の受診控えが目立ち、医療費に於ける保険給付費が予算比・前年度比で大幅に減少。高齢者医療対策で国に納める納付金も少なかったことから、経常収支は2億3000万円余りの黒字となった。黒字決算は3年連続。黒字額を積み増した結果、別途積立金は8億3600万円となっている。

2020年度介護勘定収支

	当期実績	予算対比	前年実績	前年対比
収入	151,940	100.0%	137,713	110.3%
介護保険料	148,969	99.7%	131,982	112.9%
繰越金	2,574	100.0%	4,443	57.9%
その他	397	7940.0%	1,288	30.8%
支出	146,679	96.5%	135,067	108.6%
介護納付金	146,629	98.9%	135,059	108.6%
保険料還付金	50	100.0%	8	625.0%
その他	0	0.0%	0	
収支	5,261		2,646	198.8%

収支決算は、コロナ禍のため引き続き書面審議となった組合会において、7月30日付で全員一致により承認された。

### 収入

経常収入の大半を占める健康保険収入は10億2008万円と前年比で微減だった。保険料率は9・5%で前年から据え置き。年間の平均被保険者数は1690人と前年より4人増えたが、平均標準報酬月額が5万1395円と前年から3663円ダウン、年間の総標準賞与額も6億172万円（1136万円減）となり、収入減に転じた。

前年度は多額の納付金支出が予想されたため、予算段階で別途積立金から8000万円を繰り入れて対応していた。20年度に関しては納付額低下が見込まれたことから繰り入れは実施せず、経常外収入は7600万円余りの減少となった。

## 支出

保険給付費は3億7308万円、前年比5694万円減と過去最大の減少幅。予算比では1億3371万円のマイナスだった。主な内訳は家族を含めた療養費が2億5994万円（前年比4414万円減）、薬剤費が7139万円（同583万円減）。保険給付費の4億円割れは2006年度以来の低水準となり、コロナ禍による受診控えの影響が顕著に表れた。

納付金をみると前期高齢者納付金は1億643万円（同1億188万円減）、後期高齢者支援金が2億3641万円（同394万円増）。前々年度の高齢者医療給付実績で変動する前期高齢者納付金が大幅に減った結果、納付金の総額は低く抑えられた。

保険事業費は2967万円（同259万円減）と3000万円を割り込んだ。コロナ禍で人間ドックの受診件数も

低く推移し、受診の補助経費を計上している疾病予防費が縮小したため。

## 介護保険

介護保険勘定は収入1億5194万円（同1422万円増）、支出は1億4667万円（同1161万円増）。だった。20年度に国から割り当てられた介護納付金見込み額1

億4827万円に対応するため、介護保険料率を前年の1.58%から0.18ポイント引き上げ、1.76%として充當を図った。結果として介護保

険料収入は1億4896万円、介護納付金支出は1億4662万円となった。収支の黒字額526万円は例年通り繰越金として翌年度に回した。

## 春の定健 有所見率 57%超す 過去最悪、受診率は改善

2021年春季定期健康診断の結果がまとまった。受診者のうち総合判定でC（要経過観察）、D（要治療）、E（要精密検査）、F（治療中）となっている人の割合を表す有所見率が57.4%となり、データを

◆2021年春季定期健診受診率

	対象者	受診者	受診率%	20年秋%	20年春%
神戸新聞	818	786	96.1	96.1	96.1
	被保険者 782	772	98.7	97.6	97.3
	未加入者 36	14	38.9	50.0	60.7
輸送センター	69	61	88.4	100.0	88.7
	被保険者 47	47	100.0	100.0	100.0
未加入者 22	14	63.6	100.0	65.2	
神戸新聞事業社	72	72	100.0	98.7	75.6
KCC	28	28	100.0	91.9	94.6
健保組合	3	3	100.0	100.0	100.0
ラジオ関西	49	49	100.0	94.3	100.0
サンテレビ	154	122	79.2	81.3	78.6
DS	88	85	96.6	94.3	90.7
サン神戸	18	18	100.0	100.0	100.0
総合印刷	175	150	85.7	78.3	79.4
	被保険者 144	144	100.0	98.6	98.7
未加入者 31	6	19.4	4.9	17.0	
神戸新聞興産	24	24	100.0	100.0	100.0
総合折込	33	33	100.0	100.0	100.0
文化財団	4	4	100.0	100.0	100.0
厚生事業団	3	3	100.0	100.0	100.0
京阪神エルマガ	76	69	90.8	—	100.0
地域創造	32	32	100.0	100.0	100.0
新聞会館	15	15	100.0	100.0	100.0
DSクオリティ	46	45	97.8	100.0	75.0
任意継続	30	18	60.0	57.5	44.2
合計	1,737	1,617	93.1	92.0	89.6

※昨年の秋季定期健康診断、京阪神エルマガは実施せず。輸送センターは夜勤者のみ実施。

### 健康診断の有所見率推移 (2016年秋～)

16年秋	54.1
17年春	54.6
17年秋	52.3
18年春	54.3
18年秋	51.9
19年春	54.7
19年秋	51.7
20年春	56.8
20年秋	52.5
21年春	57.4

最悪の数字となった。有所見率はこれまで、51%台～56%台で推移していた。コロナ禍での外出自粛などを受けて運動不足になりがちに影響もあらるとみられる。

検査項目別の有所見率では肝機能(22.8%)、血圧(17.9%)、心電図(15.1%)が上位となった。

受診率(アルバイトなど未加入者含む)は93.1%と、前年秋から1ポイント余り増加した。前年春はコロナ禍第一波の影響で受診率が90%を割っており、1年前と比べると大幅に上昇している。

受診率100%を達成したのは神戸新聞事業社、KCC、健保組合、ラジオ関西、サン神戸、興産、総合折込、文化財団、厚生事業団、地域創造、新聞会館の11事業所。輸送センターと総合印刷は被保険者に限れば全員が受診した。

## ◆秋の定期健康診断案内◆

神戸新聞グループの全従業員を対象にした「2021年度秋季定期健康診断」を10月に実施します。新型コロナウイルス感染症防止の観点から、入口で検温を実施。発熱のある方や風邪などの症状がある方は受診を見合わせてください。

サンテレビジョンは本社移転に伴い、従業員は今回から神戸新聞本社（情文ビル）で

の受診となります。情文ビルでの受診対象者が今春より増えることから、混雑回避のため、時間差受診への一層の協力をお願いします。

例年通り9、10月の人間ドック受診者は、その結果をもって秋の定期健康診断の代用とすることができます。ドック受診結果表のコピーと問診票を健保組合まで提出してください。

### 2021年秋季健康診断日程

#### 神戸新聞本社

10月25日（月）～29日（金）

9：30～12：00 13：30～17：00

女性は25日9：30～12：00 26日13：30～15：30  
26、27日15：30～17：00

#### 西神製作センター

10月12日（火）～15日（金）

15：00（12日のみ14：30）～17：00

女性は12日14：30～15：00

#### 阪神製作センター

10月18日（月）、25日（月）

15：30～17：00

女性は18日15：30～16：00

※サンテレビジョンは今秋から神戸新聞本社受診

## 人間ドック予約は早めに

### 受診機関に直接予約も可能

コロナ禍で昨年の人間ドック受診が手控えられた影響などもあり、秋から年末にかけて人間ドックの予約が大変取りづらくなっています。ドック受診を計画している場合はなるべく早めに対応をお願いします。

予約が申込者の希望日時で取れないケースが増え、健保事務局と受診機関で対応可能な日時枠を調整、あらためて申込者に連絡している間に、その枠が別ルートでの予約で埋まってしまう事態も出てきて

います。緊急措置として申込者個人で直接受診機関に連絡して予約を押さえることも認めることにしました。

手順は別表の通りです。健保組合の人間ドック契約医療機関については組合ホームページ内の「人間ドックを受けるとき」でご確認ください。

ドック利用申込書もホームページからダウンロードできます。

#### <個人での人間ドック予約方法>

- ①希望する受診機関に申込者が直接連絡
  - ②その際、必ず神戸新聞健康保険組合としての予約と伝える
  - ③予約が取れた場合、確認FAXを健保事務局から送りますと伝える
  - ④すぐに健保組合事務局（078-362-7166）まで連絡
  - ⑤ドック受診申込書に記入の上、事務局に提出
  - ⑥健保事務局から受診機関に確認FAX送信、正式な予約となる
- （注意）申込書提出の手続きがない場合は人間ドック補助の対象にはならず、受診料は全額、申込者が受診機関に支払うことになります。

※問い合わせは神戸新聞健康保険組合事務局まで  
Tel 078-362-7166 Fax 078-361-7758

## 公告

健康保険法第47条2項に規定する神戸新聞健康保険組合の2021年9月30日現在の平均標準報酬月額を、次のとおり公告します。

平均報酬月額 31 等級 530,000円

退職後、任意継続者として神戸新聞健康保険組合に加入されている方は、平均標準報酬月額または本人の従前の標準月額のうち、いずれか低い額で保険料を算出します。適用は2022年4月からです。

以上

任期満了に伴う神戸新聞健康保険組合の議員総選挙が9月21日に行われ、互選議員11人が決まり、選定議員11人も合わせて同日付で就任した。新議員22人から理事10人と監事2人を選出し、理事長には大国正美神戸新聞社常務取締役が再任された。

新議員、新理事の任期はい

## 組合新議員 22人決まる 任期は2年

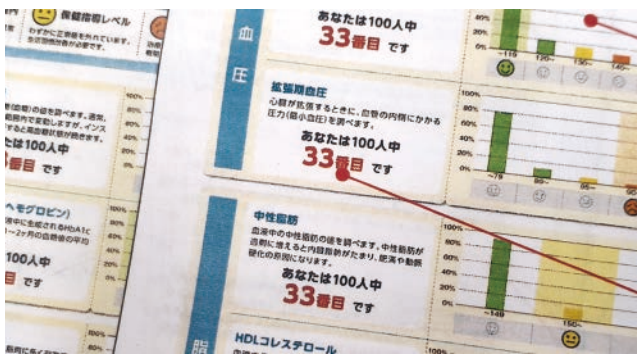
ずれも2年、2023年9月20日までとなる。

事業主側を代表する選定議員は事業主が選出し、被保険者側の代表となる互選議員は被保険者による選挙で選ばれる。議員による組合会（定例会は2月、7月）は予算や決算、保険料率などの案を審議する。

新しい理事・議員（敬称略、所属は就任時） 任期は2021/09/21～2023/09/20

選定議員		
理事長	大国 正美	神戸新聞社常務取締役
専務理事	井上 隆	神戸新聞健康保険組合
常務理事	鑛 隆志	神戸新聞社執行役員総務局長
理事	田畑 道昭	同 執行役員販売局長
理事	柴田 大造	同 編集局次長
監事	南部 雅一	同 財務局長
議員	地道 克礼	同 総務局次長
議員	井出 博行	同 メディアビジネス局次長
議員	中山 敏暢	同 経営企画局次長
議員	能美 俊一	サンテレビジョン常務取締役
議員	桜井 太	神戸新聞総合印刷取締役

互選議員		
理事	黒田 勝俊	神戸新聞社編集局
理事	三浦 拓也	同 編集局
理事	楠本 竜嗣	同 メディアビジネス局
理事	篠田 諭	デイリースポーツ報道部
理事	松本 博文	神戸新聞興産常務取締役
監事	島田 直幸	神戸新聞社デジタル推進局
議員	森 信弘	同 編集局
議員	齊藤 雅也	同 財務局
議員	上杉 順子	同 編集局
議員	内山 晶	神戸新聞事業社取締役
議員	盛田 悟史	ラジオ関西取締役



40歳に達した被保険者は、健康診断結果で生活習慣病のリスクが高いと判断された場合

## 定健結果に基づき健康づくりを助言

### 対象年齢の方に冊子

合、特定保健指導の対象となります。

節目の年齢を迎える前と、それから10年おきの年齢となる39歳、49歳、59歳の方に、個々の健診結果を踏まえて健康づくりをサポートする冊子をお届けします。今年度から始まる新サービスです。

冊子はA4サイズ、カラー16ページ。男性版と女性版があります。直近3年分の健康診断における肥満度や血圧、血糖、脂質などそれぞれの数値の「健康レベル」を判断し、例えば100人中どれくらいかという「仮想順位付け」を表示。対象者個々の健康問題点に応じた食事、生活習慣の改善方法を紹介していきます。「ジエネリック差額通知書」・「乳がん自己検診手袋」・「ブレストケアクラブ」も例年通り12月～1月にお届けします。通知書は、処方された薬品をジエネリック薬品に切り替えた場合、自己負担に年間5000円以上の差額が生じる人を対象に配布。手袋は女性被保険者向けとなります。